



2023.6.24.評議員会承認

第5年度 CCF 事業計画

第5年度（23.4～24.3）事業計画

1) ビジョン1「現代社会に山積みになっている社会課題解決に参画」

* ちくご川関係地域にとっての社会的課題：「地域の持続可能化」

a) 視点1「次代を担う若者の社会への参加」

○ 孤立解消に向けての手法

- ・ 困難を抱える子ども若者の孤立解消と育成に取り組む団体・個人を支援
- ・ 困難を抱える人たちが地域社会に居場所を持つことができる社会環境の創造

○ 具体策

① 子ども若者応援助成事業

・ 子ども若者応援助成の継続

第5年度：200万円（6件程度、期間23.4～24.3）

←クラウドファンディングで達成

- ・ 23.3から公募開始し、23.4締め切りまでに14申請あり。
- ・ 1団体が取り下げ13団体を審査。5月16日、6団体・総額176万円の助成決定。
- ・ 第6年度へ向けての準備・・・再度クラファンを行うか検討する。

② 休眠預金等活用事業

・ 2020年度通常枠事業（20.11～24.4）＜助成規模約3500万円＞

- － わたしと僕の夢（久留米）：貧困家庭の子ども若者の孤立解消と育成
- － みんなの家みんな（朝倉）：養護施設退所者の居場所・故郷づくりと過疎地支援
 - ・ 最終年度：中長期アウトカムに向けての準備
 - ・ 事後評価を実施する。

・ 2021年度通常枠事業（22.3～25.3）＜助成規模約4200万円＝3団体×1400万円＞

- * テーマ：誰一人取り残さない居場所づくり～学びの場における孤立解消と育成
- － 家庭教育研究機構（飯塚）：校内フリースクール創設
- － 未来学舎（久留米）：居場所、学び、就職の総合的学びの場の創造
- － 箱崎自由学舎 ESPERANZA（福岡）：
 - FSへの行政助成実現に向けてのネットワークづくり及びアドボカシー
 - ・ 地域円卓会議の活用
 - ・ 中間評価の実施

・ 2023年度通常枠事業（23.9～26.3）＜助成規模約1億円＝5団体×平均2000万円＞

- * 対象：困難を抱える子ども若者その家族に焦点を充てて支援を行う団体
- ・ POを雇用



- ・休眠預金等活用事業随時枠申請を YNF とのコンソーシアムで行う。「COVID-19 禍後のボランティア教育と各種施設の準備」をテーマ

- ・もし実施されるなら、宮崎文化本舗を幹事団体とするコンソーシアムに参加。テーマは「災害時デュアルモードソサイエティの構築」。JANPIA の助言に従い、災害支援通常枠で申請する。CCF は福岡県担当。・・・5/19 現在、何の連絡もなく申請中止（申請締切 5/31）と思われる。

③ その他事業

- ・自然災害支援拠点の設立の一環として、CCF 事務所隣接の倉庫を災害支援装備品倉庫化が実現。YNF とのコンソーシアム事業（上記）が採択され、実施に至れば、起点の一つとする。

b) 視点 2 「自然災害への対応」

○ ちくご川関係地域の自然災害被災者支援のための方策

① 災害支援基金の立上げと広報

- ・第 4 年度に HP が新装なり、ファンドレイジングシステム構築も進展
- ・上記を基に更なる進展へ

② 被災者支援団体の支援

- ・特定非営利活動法人 YNF との協働を推進。拠点の提供と倉庫の活用。協定締結。
- ・（公財）CIVIC FORCE 及び（社）北部九州河川利用協会との協働関係構築・強化。

2) ビジョン 2 「CCF 自身が主体的に公益を担う力を持つ」

a) 組織基盤の確立

① ファンドレイジングの強化

- ・企業・団体・個人への働きかけ：事業報告書を持ち理事・顧問等による企業回り等
→ライオンズクラブ（LC）への働きかけ
・・・りんどう LC とは、子ども若者応援助成審査委員参加を通じて関係強化
→ニュースレター送付継続
→整備された支援者リストの活用
→HP 中の支援アピール・方法の更新
- ・各種助成金の活用・・・要検討
- ・受託事業：情報収集
- ・収益事業：
 - －水曜勉強会を有料講座に移行。
 - －コンサル業務・講師派遣

② NPO 等支援ふるさと納税制度の採用を久留米市に働きかける。

- ・久留米の CSO（市民社会組織）と勉強会を始め、賛同団体とともに久留米市に働きかけを行う。市議会議員への働きかけ等

③ 人事体制の充実

- ・23 年度休眠預金等活用事業（通常枠）申請採択を前提に P0 を 3 人に。



④ 公的な認証の取得

・第4年度の非営利組織評価センターの評価認証「グッドガバナンス認証」取得を基盤に、CCFの公益財団法人化を図る。

b) 財団内人材の育成と協力ネットワークの構築

1 財団内人材育成

- 1) 常勤プログラムオフィサー (P0) 3人体制
- 2) 久留米大学中村寛樹教授 (基盤教育センター) との協力
- 3) 補助 P0 の雇用と久留米大学生インターンの受け入れ

2 協力ネットワークの構築

- ・助成先団体との関係強化。ネットワークをつくる。伴走支援がカギ。
- ・YNF、(社)北部九州河川利用協会 (河協)、(財) CIVIC FORCE (CF) と連携

◎ 事業スケジュール

| 事業等名 | 23. 4～23. 7 | 23. 8～23. 11 | 23. 12～24. 3 |
|------------------------|----------------------------|--------------|--------------|
| 子ども若者応援助成 休眠預金等活用事業 | 公募・審査採択・助成 | 伴走支援 | 公募準備・報告書受領 |
| ・20年度通常枠 | 伴走支援 | 事後評価準備 | 事後評価WS |
| ・21年度通常枠 | 伴走支援 | 中間評価準備 | 中間評価WSと伴走支援 |
| ・23年度通常枠 | 申請・採択・契約・助成 | 事前評価WS | 伴走支援 |
| ・23年度随時枠 | 申請・採択・契約・助成 | 伴走支援 | 事後評価WS |
| 自然災害支援 | CFとの連携(グッドリンクス紹介)、河協との連携模索 | | |
| ・円卓会議 | 第2回開催 | 第3回開催 | 第4回開催 |
| ・社会課題講座 | 講座の設立 | 講座の実施 | 講座の実施 |
| ファンドレイジング | 柳田 P0 を中心に企画実施・全員が理解して進む | | |
| NPO等支援ふるさと 納税久留米市導入 | CSOの結束づくり | 市・市議会への働きかけ | |
| 人的体制 | 常勤 P03 人体制へ | P0 補佐雇用 | インターンシップ受入れ |
| 公益財団法人化 | 内閣府への相談と申請書づくり | 正式申請 | 審査・決定 |
| ネットワークづくり | 助成先・一般 CSO からの相談対応 | → | → → → → |

(了)